

論文要旨

地域の現状と課題 ―千葉県香取地域を事例に―

19101069 岡 海王

進学や就職を機に都市部への移住が増え、地域格差が発生している現代社会。その中で、地域格差を是正するための魅力ある地域を創出するためには、どのような取り組みが必要か、千葉県香取市を事例に調査を行った。

人口課題の解決を目的とした「香取市まち・ひと・しごと総合戦略」、今後のまちづくりにおける目標を定めた「香取市総合計画」を軸として、佐原地区、小見川地区、山田地区、栗源地区の4つの地域の現状と課題について調査を行い、今後のまちづくりにおける対策を考察した。また香取市では、高齢化が進み、空き家問題や買い物難民が増加傾向にある。そのような問題に対して、市内で行われている事例をもとに考察を行った。

結果として、子育て世代の増加を図るために4つの地域ごとの強みを活用する施策が必要である。佐原地区は歴史的建築物を活用した観光、小見川地区は河川を活用したスポーツ・ツーリズム、山田地区と栗源地区は主要産業である農業を活用し、地域の魅力を外部の人に伝えることが求められる。

最後に、魅力ある地域の創出には、自治体に頼るだけでなく、地域住民の協力が必要であることや、成功事例を真似るだけでは、地域活性化は図れないだろう。また現代に適応していない社会制度を続けるのではなく、新たな価値観を取り入れていくことが重要である。